

船舶事故等調査報告書

平成23年9月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011長第26号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年1月7日 02時50分ごろ	
発生場所	長崎県五島市福江港 福江港2号防波堤灯台から真方位188° 1,040m付近 (概位 北緯32° 41.5′ 東経128° 51.2′)	
事故等調査の経過	平成23年4月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 ^{だいこく} 大黒丸、199トン	
船舶番号、船舶所有者等	132575、有限会社光洋海運	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底擦過傷及び凹損、プロペラ曲欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、福江港において船首約1.8m、船尾約3.2mの喫水で荷役バースに着岸作業中、平成23年1月7日02時50分ごろ、船底が浅所に接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 7 海象：潮汐 低潮時、潮高 約18cm	
その他の事項	船長は、本事故発生場所付近の低潮時の水深が浅いことを知っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、福江港において低潮時に着岸作業中、 余裕水深がなかったことから、浅所に乗り揚げた ものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、福江港において低潮時に着岸作業中、余裕水深がなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に水深及び潮汐を調査し、余裕水深を十分に確保すること	